

1. 日本の4つの人口

	日本人	外国人
情報交流人口*1	約35万人(2005) (出典)平成16年度国土交通省調査より	— (例)沖縄県 海外にある沖縄県人会登録者数 約14,000世帯+9,700人 (出典)沖縄県国際交流課各国県人会資料より
交流人口	約1億5100万人(2004)*2 (出典)国土交通省「観光白書」より	約614万人(2004) (出典)国土交通省「観光白書」より
二地域居住人口*3	約100万人(2005) (出典)平成16年度国土交通省調査より	約2.4万人(2004) (滞在型の異質文化交流人口*4)
定住人口	約1億2770万人(2004) (出典)総務省平成16年推計人口より	約130万人(2004) (出典)法務省在留外国人統計より【永住者等】 ※日本人定住人口(1億2770万人)の内数

*1 情報交流人口とは:「自地域外(自市町村外)に居住する人に対して、何らかの情報提供サービスを行う等、『情報交流』を行っている『登録者人口』と定義している。

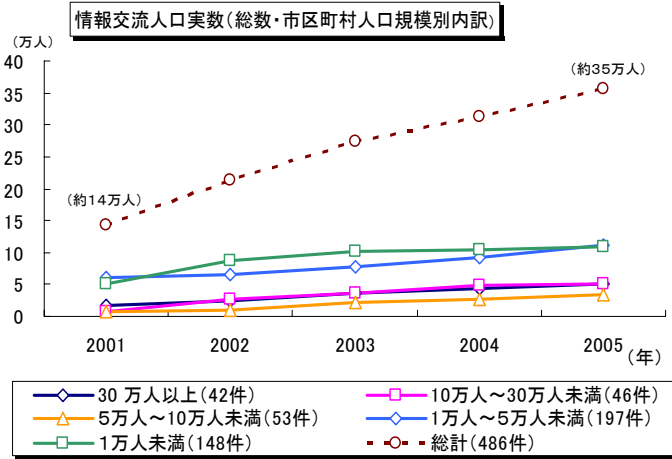
*2 国民の国内宿泊旅行者数(延べ数)を置いている。

*3 二地域居住人口とは:都市住民が本人や家族のニーズ等に応じて、多様なライフスタイルを実現するための手段の一つとして、農山漁村等の同一地域において、中長期(1~3ヶ月程度)、定期的・反復的に滞在すること等により、当該地域社会と一定の関係を持ちつつ、都市の住居に加えた生活拠点を持つことと定義している。

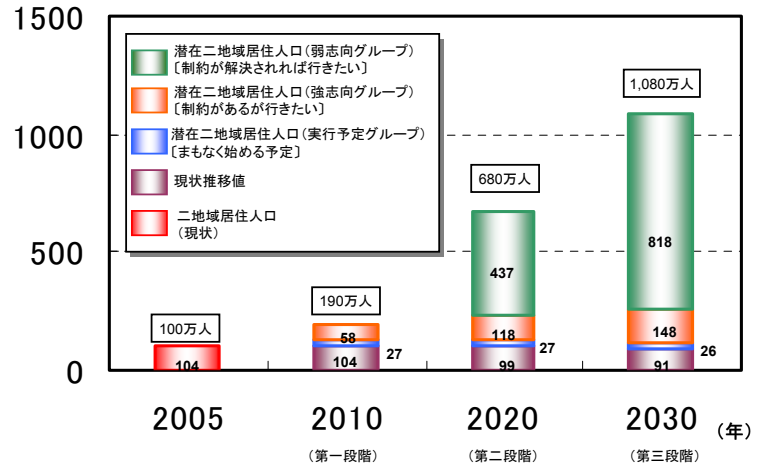
*4 滞在型の異質文化交流人口とは:「在留外国人統計」の中で、「教授」、「芸術」、「研究」、「教育」、「文化活動」として登録されている人口と定義している。なお、外国人の二地域居住人口としては、これ以外に「留学生」の約13万人、「ワーキングホリディ人口」の約3600人などがある。

2. 4つの人口（情報交流人口、交流人口、二地域居住人口、定住人口） ～「一人4地域人（複属地域人）社会」～

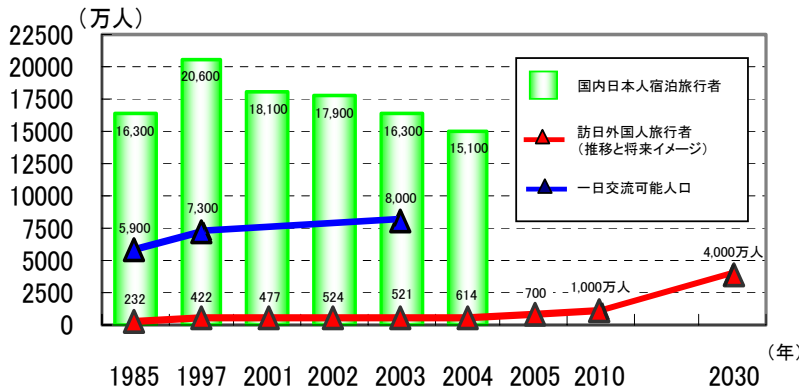
1. 情報交流人口（推移（実数））



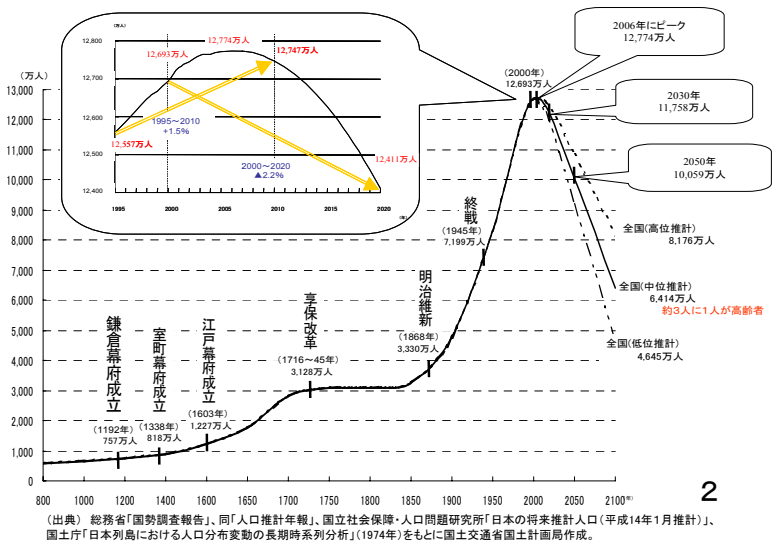
3. 二地域居住人口（現状推計と将来イメージ） （万人）



2. 交流人口（推移と将来イメージ）



4. 定住人口（長期的推移）



(出典) 国土交通省「観光白書」、内閣府「日本 21世紀ビジョン」、総理府「観光の状況に関する年次報告」、国際観光振興機構「2004年 訪日外客数・出国日本人数の動向」をもとに国土交通省国土計画局作成。
 2004年までは実数。2005年は国土交通省総合政策局想定。
 2010年は目標、2030年は将来ビジョンとして設定(「日本 21世紀ビジョン」より)
 ※一日交流可能人口: 全国主要都市間で日帰り(概ね片道3時間)で面会可能な人口 NITAS等により作成

(出典) 総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布変動の長期時系列分析」(1974年)をもとに国土交通省国土計画局作成。

3. 4つの人口（情報交流人口、交流人口、二地域居住人口、定住人口）の具体例

4つの人口	長野県飯山市	鹿児島県名瀬市総合計画 (2002⇒2011)	千葉県鴨川市(棚田農業特 区)	その他
情報交流人口	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山応援団 菜の花大使 1,638人(平成17年10月現在) ・震災疎開パッケージ (全国商店街震災対策連絡協議会) 72人(平成17年10月現在) 			<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット村民『e-村民』 (福島県泉崎村) 1,913人(平成17年10月現在) ・ふるさとづくり寄付条例 (北海道二セコ町) 47人(平成17年10月現在) ・日光杉並木オーナー制度 (栃木県) 451人(平成17年9月現在)
交流人口	<ul style="list-style-type: none"> ・少しだけ「いいやま」 一時滞在 観光客数約150万人 (平成16年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル宿泊者(短期) 約1,000人 ・近隣町村からのレジャー、娯 楽、買い物客及び通院者、 各種イベント来場者等 約2,000人 ・合計 約3,000人 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型 (初級) ・棚田オーナー 136組(平成17年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県小布施町(人口11,460人) 観光客数 約120万人(平成16年 度) ・大分県湯布院町(人口11,407人) 観光客数 約388万人(平成16年) ※湯布院町は平成17年10月1日に 由布市となっている。
二地域居住人口	<ul style="list-style-type: none"> ・たっぷり「いいやま」 長期滞在 	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期滞在者(ホテル宿泊 者、Oターン者、病院や福祉 施設等への入院者等) 約300人 ・周辺町村からの流入人口 (通勤・通学者等) 約1,700人 ・合計 約2,000人 	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らし目指す通い型 (中級) 	
定住人口	<ul style="list-style-type: none"> ・ずーっと「いいやま」 定住 26,420人(平成12年国勢調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標人口 50,000人 (定住人口に上記人口を加えたもの) 43,085人(平成12年国勢調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らしを始めた定住型 (上級) 29,281人(平成12年国勢調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑の雇用」(和歌山県) 133人定住化(平成16年度)

(参考資料) 沖縄の4つの人口

	日本人	外国人
情報交流人口	約830人(2005) (出典)平成16年度国土交通省調査より	約14,000世帯+9,700人(2004) (出典)沖縄県国際交流課各国県人会資料より
交流人口	約502万人(2004) (出典)沖縄県平成16年入域観光客統計より	約13万人(2004) (出典)沖縄県平成16年入域観光客統計より
二地域居住人口	— (全国での二地域居住人口は約100万人(2005))	約230人(2004) (滞在型の異質文化交流人口)
定住人口	約136万人(2004) (出典)総務省平成16年推計人口より	約5300人(2004) (出典)法務省在留外国人統計より【永住者等】 ※日本人定住人口(136万人)の内数